

愛知の土地改良

□ 令和元年度 第1回理事会開催	2
□ 令和元年度 第1回支会長会議開催	2
□ 令和元年度 第1回参与会開催	3
□ 叙勲	3
□ 農業農村整備の集い	3
□ 令和元年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施	5
□ 令和元年度 土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (39期生～43期生)打合せ会議開催	6
□ 土地改良区の複式簿記導入に向けて	7
□ 「あいち水土里ネット女性の会」発足に向けての状況報告	7
□ 農事用電力(低圧電気料金)の経過措置の継続について	8
□ 水土里情報システム操作研修会開催	8
□ 土地改良区体制強化事業情報	9
□ 令和元年度 あいちの農業用水展	10
□ 令和元年度 田んぼアート観察会	11
□ 令和元年度 水土里レポーター	11
□ 各種お知らせ	12

No.
196
令和元年9月1日

スドリ 水土里ネット 愛知
水土里ネット
新農村創造

発行／愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)



田んぼアート 名古屋市港区

第1回理事会 開催

7月31日、第1回理事会を、愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。

理事会は始めに中野治美会長より挨拶がなされ、続いて、参与としてご臨席の県幹部の方々を代表し、水野康弘愛知県農林基盤局長よりご挨拶をいただき、議事に入った。

提出した下記議案は、いずれも原案どおり承認、可決された。



記

提出議案

第1号議案 平成30年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録の承認について

※関連説明 新短期(5ヵ年)事業計画(目標年次:32年度)について

第2号議案 愛知県土地改良事業団体連合会定款の一部変更について

第3号議案 愛知県土地改良事業団体連合会会計指導員が行う土地改良区の指導監査に関する実施規程の設定について

第4号議案 愛知県土地改良事業団体連合会事務局規程の一部変更について

そ の 他 (1)農事用電力の経過措置の継続について

(2)第42回全国土地改良大会岐阜大会について

(3)要請活動について

(4)その他

第1回支会長会議 開催

7月23日、第1回の支会長会議を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

会議には中野治美会長(海部支会長)、小久保三夫副会長(豊橋支会長)、佐藤幸男名古屋副支会長、恒川宣彦一宮副支会長、片岡勝城半田支会長、神谷金衛岡崎支会長、三浦孝司豊田支会長が出席

された。

会議は始めに中野会長より挨拶がなされ、続いて中野会長を座長に選任し、提出した下記議案は、各資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

記

提出議案

(1)理事会提出事項について

(2)その他

第1回参与会 開催

7月26日、第1回参与会を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

参与会は山本信介専務理事の挨拶の後、参与を代表し、宮林和男愛知県農林基盤局農地部長よりご挨拶をいただき、議事に入った。

提出した議案は7月31日開催の理事会に提出する、平成30年度事業報告並びに一般会計収支

決算等、それに関連した本会の新短期(5ヵ年)事業計画も併せて協議された。また、本会定款・事務局規程の一部変更、本会会計指導員が行う土地改良区指導検査実施規程、農事用電力の経過措置の継続、農業農村整備の集いおよび要請活動について報告をした。

叙勲

政府は令和元年5月21日付で令和元年春の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは2名の方々が受賞の栄に浴されました。

このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げ、益々ご健やかにご活躍されますようお祈りいたします。

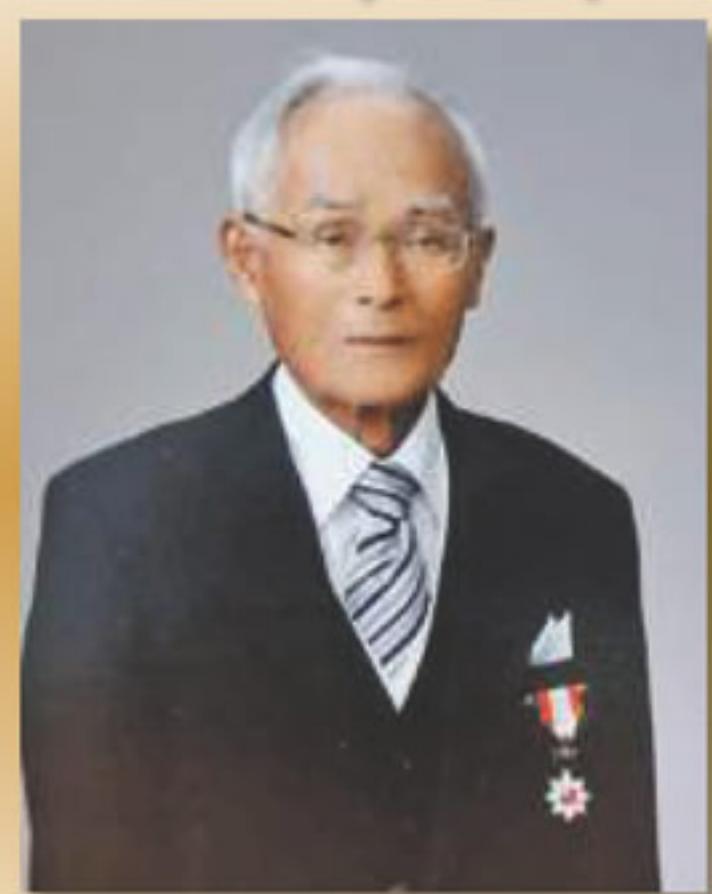
旭日単光章



今村 勉氏

元新城市土地改良区理事長

旭日単光章



西本 勇一氏

元豊橋西部土地改良区理事長

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

6月5日、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サポーで「農業農村整備の集い」が開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者約1,200名が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に開催されたもので、本県からは、中野治美会長を始め、本会会員、愛知県より28名が参加した。

4ページへ続く



二階会長挨拶

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、「令和に変わった大きな節目の年に、防災・減災、国土強靭化のための緊急対策を含め4,963億円、前年度の第2次補正予算を合わせると6,451億円を確保した」と挨拶された。

また、「昨年も非常に多くの災害に見舞われた。これを踏まえ、今国会においては長年の懸念であった『農業用ため池の管理及び保全に関する法律』が成立した。これによって今後の展開が大きく期待される。そして、進藤金日子参議院議員と車の両輪たらんとして全国を飛び回る宮崎雅夫さんの闘いが始まる。この闘いは、ここにいる我々全ての、土地改良全体の闘いである。」との強い気持ちを示された。

続いて、吉川貴盛農林水産大臣始め多数の国會議員から祝辞をいただいた。

その後、全国水土里ネット会長会議の宮崎雅夫顧問が、情勢報告の中で「闘う土地改良区はまだまだ続きます。私の挑戦は、予算の安定的な確保も含めて、この新しい令和の時代、土地改良を安定的に計画的に進めていくかどうか、大変大きな土地改良の闘いである」と訴えられた。

また、国に対して予算確保のための要請の提案・採択が次のとおり示された。

1 農林水産業は国の基であり、土地改良はその根幹を成すものである。平成から令和に元号が変わる節目の年に当たって、今一度「闘う土地改良」の原点に立ち戻り、事業の計画的・安定的な推進のため、令和二年度当初予算の増額を図ること。



吉川農林水産大臣挨拶

- 2 農業の競争力強化や農村地域の国土強靭化の実現のため、現場の声に真摯に向き合いながら、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化や、老朽化した農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等をより一層推進すること。
- 3 大規模地震や豪雨等の大規模災害からの復旧・復興を早急かつ加速度的に進めること。
- 4 本年四月に施行された改正土地改良法の適切な運用を図るため、その普及啓発に努めるとともに、土地改良区や組合員の声に真摯に耳を傾け、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。
- 5 今国会で成立した「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の適切な施行に当たり、広く国民に向けてその周知を図るとともに、現場の実態をよく踏まえた上で、必要となる財政的支援等を講じること。



進藤参議院議員挨拶



宮崎全国水土里ネット会長会議顧問による情勢報告

令和元年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

6月3日、東海農政局において、山本信介専務理事により令和元年度農業農村整備事業に関する



東海農政局幹部への要請

また、6月5日に、農林水産省農村振興局において、中野会長、山本専務理事により同内容の要請について、室本隆司農林水産省農村振興局長を始め農村振興局幹部職員への要請活動を実施



室本農村振興局長に要請書を手交

22項目の重点要請を、幸田淳東海農政局長を始め局幹部職員へ実施した。



幸田東海農政局長に要請書を手交

した。また、当日開催された「農業農村整備の集い」終了後においても、関係の国会議員へ要請活動を行った。



酒井庸行参議院議員に要請書を手交

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり

要 請 書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
土地改良関係の予算は、平成30年度の補正予算1,488億円と、令和元年度予算4,963億円と合わせて6,451億円を確保し、平成21年度の当初予算を上回る対応に重ねてお礼を申し上げます。

しかしながら、地域ニーズに応じた事業を安定的、計画的に展開するためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であるところ、当初予算の割合は、平成21年度当初比で86%に留まっています。

本県は古くから木曽川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業生産額で全国3番手グループ、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、国営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

一方で、本県は我が国最大規模のゼロメートル地帯を有する特殊な事情を抱えています。南海トラフで発生する大規模地震により、海岸堤防や排水施設は沈下・崩壊し、津波到達前の浸水や津波による堤防流出等による甚大な被害が想定されています。

6ページへ続く

また、県内には2,400ヶ所を超える農業用ため池があります。大規模地震により、下流に甚大な被害を出す恐れがあります。そのため、防災・減災に資する農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて22項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請22項目

I 地域ニーズに応じた攻めの農業農村整備事業の展開について

- 1 農業農村整備事業の着実な推進について
- 2 国土強靭化の推進について
- 3 豪雨対策など農地防災事業の着手に必要な手続きの簡素化について

II 国土強靭化に資する農業農村防災対策と力強い農業を支える農業生産基盤の整備について

- 1 農業の競争力強化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 2 国土強靭化に資する農村地域防災減災事業の促進について
- 3 ゼロメートル地帯の海部地域における木曽川用水施設の更新整備について
- 4 農地整備事業にかかる農業者の費用負担の軽減について
- 5 農業用排水路の老朽化及び長寿命化対策の促進について
- 6 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 7 農山漁村地域整備交付金の促進について
- 8 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 9 国営造成施設管理体制整備促進事業の促進について
- 10 土地改良区制度の見直しに伴い新たに生じる負担への支援について
- 11 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について

III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 4 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期事業化について
- 5 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 6 水資源機構 壱岐川用水二期事業の推進について
- 7 水資源機構 壱岐用水三好支線水路緊急対策事業の推進について
- 8 水資源機構施設の更新整備について

令和元年度 土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (39期生～43期生) 打合せ会議 開催

5月16日、本会7階大会議室において令和元年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体打合せ会議を開催し、加入団体55団体84名の出席のもと次の事項の打合せを実施した。

- 1 適正化事業実施計画について
 - (1)令和元年度加入適正化事業(43期生)の年度別実施状況調書
 - (2)令和元年度適正化事業実施計画調書
 - 2 適正化事業事務手続きについて
- また、打合せ会議終了後、希望加入団体の個別案件の打合せを実施した。



土地改良区の複式簿記導入に向けて

改正土地改良法に伴い、令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されたところです。

本会では、7月から貸借対照表を作成するための複式簿記会計の導入に向けて、関係する土地改良区を支援する巡回指導を実施しています。

また、貸借対照表に計上する土地改良施設の資産価値を求める資産評価についても、県営・団体営事業の完了地区調書を基本として、施設の建設に要した金額(取得価格)から、時の経過により目減りした金額(減価償却累計額)を差し引いて算

出した現在の価格(期末残高)によって、土地改良施設の資産価値を評価し、「土地改良施設台帳」を作成いたします。確認調査の際にはご協力くださいますようお願いいたします。



「あいち水土里ネット女性の会」発足に向けての状況報告

本県で女性の会の発足に向けて、各管内の水土里ネットから1~2名の女性職員を選任し、設立準備会を立ち上げた。

①第1回設立準備会開催

令和元年5月28日(火)、愛知県土地改良会館において、各管内水土里ネットから9名のほか本会役職員5名が参加した。

山本専務理事のあいさつの後、女性の会の概要及び全国の設立状況を説明した。

その後の座談会では、各水土里ネットの職場状況(職員構成、職務内容など)や女性の会の活動内容などについて話し合いが行われ、参加者相互の理解を深めることができた。

②第2回設立準備会開催

令和元年7月3日(水)、愛知県土地改良会館において、各管内水土里ネットから11名のほか本会職員5名が参加した。

女性部会の先進地である水土里ネット和歌山への視察状況を報告し、その後、女性の会発足後の活動内容について、ワークショップ形式によるグループごとの意見交換では、女性の会の設立に当たり、「役員や上司、関係者の理解が必要であること」に加え、「女性の視点ならではの活動ができるのか」など、参加者から活発な発言があった。



農事用電力(低圧電気料金)の経過措置の継続について

農事用電力を含む低圧電気料金の経過措置の継続につきましては、中部電力(株)に対し、本会を含む東海・関東ブロックの5県土連連名での要請活動及び愛知県土連による関係国会議員への要請活動を実施した結果、以下のすべてのみなし

小売電気事業者において、来年(令和2年)4月以降も存続することが、7月3日、経済産業大臣により決定されましたのでお知らせいたします。

これまでの皆様方の多大なご尽力に深くお礼申し上げます。

全国10ののみなし小売電気事業者

北海道電力(株)、東北電力(株)、東京電力エナジーパートナー(株)、北陸電力(株)、中部電力(株)、関西電力(株)、中国電力(株)、四国電力(株)、九州電力(株)、沖縄電力(株)

水土里情報システム操作研修会 開催

《システム研修》

水土里情報システムの運営については8年目を迎え、必要に応じてシステム改良を行っており、本年度は令和元年5月27日～30日にシステム操作を対象とする「水土里情報システム操作研修会」を開催した。

◎システムの操作研修

主な研修項目は、認証、画面構成、表示パタン管理、計測、属性表示、塗り分け、ラベル表示、検索、メモの作成、印刷等。

(参加団体:24団体 参加者:64名)

今後も本システムにより皆様の業務の効率化が図れるよう、実務的な研修会を進めてまいります。

《愛知県職員システム研修》

令和元年5月13日～17日に、左記のシステムの操作説明に加えて、県事業情報の運用を行うための操作について愛知県職員を対象に研修会を開催した。

◎システムの操作研修

◎県事業情報の運用を行う操作

新規地区作成及び継続地区更新作業における操作 (参加者:11名)



土地改良区体制強化事業情報

II 令和元年度 愛知県受益農地管理強化委員会 II

5月30日、本会6階第1研修室において愛知県受益農地管理強化委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成30年度土地改良区体制強化事業実績報

- 告並びに収支決算について
- 2 令和元年度土地改良区体制強化事業実施計画並びに収支予算について
- 3 遅延地区について

II 令和元年度 愛知県管理運営体制強化委員会 II

5月30日、本会6階第1研修室において愛知県管理運営体制強化委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成30年度施設・財務管理強化対策実績報告並びに収支決算について(土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に

- 関する苦情・紛争等の対策)
- 2 令和元年度施設・財務管理強化対策実施計画並びに収支予算について(土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策)

II 令和元年度 連絡調整会議 II

6月18日、本会6階第1研修室において連絡調整会議を開催した。愛知県農地計画課、農地整備課及び各農林水産事務所建設課のアドバイザーに出席いただき、令和元年度愛知県管理運営体制強化委員会について報告し、土地改良施設維持管

理適正化事業(39~43期生)の年度別実施状況・実施計画、令和元年度適正化事業実施計画及び令和2年度新規(44期生)事業実施要望等について協議し、土地改良施設の維持管理、事業の拡充強化について意見が交換された。

II 換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会 II

8月22日、23日、30日、本会7階大会議室において、換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会を開催した。東海農政局土地改良管理課、

名古屋法務局、愛知県農地計画課・農業振興課から講師を招き、愛知県、市町、水土里ネット、コンサルタント等の換地技術者が出席した。

令和元年度 あいちの農業用水展

尾張一宮駅前ビル(一宮市)で開催！

「水の週間」に関連して、8月3日に愛知県、水土里ネット愛知、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催(東海農政局新濃尾農地防災事務所、一宮市、水土里ネット宮田用水、水土里ネット木津用水、愛知県農業土木測量設計技術研究会共催)で、「水が育てる愛と知の風土」をテーマに「あいちの農業用水展」を尾張一宮駅前ビル3階シビックテラス(一宮市)において開催した。(4日から9日まではパネル展示のみを開催)

この「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

開催29回目となる今年度は、宮田用水・木津用水にスポットを当てた企画として催された。

メインイベントを開催した3日は、水土里ネッ

トや宮田用水、木津用水に関するパネル展示に加え、国営総合農地防災事業新濃尾地区の紹介動画の上映、タブレットを使った農業農村地域で遊ぶゲームアプリ体験、小水力発電装置の実演会、田んぼの生きもの展示(約20種類の淡水魚や水生昆虫など)等を実施した。

また、水野康弘愛知県農林基盤局長、中野正康一宮市長が挨拶をされた後、中野治美水土里ネット愛知会長、宮森俊光東海農政局新濃尾農地防災事務所長、山田一己水土里ネット宮田用水理事長、宮地計年水土里ネット木津用水理事長、勝又久幸愛知・豊川用水振興協会理事長らを交え、宮田用水・木津用水の歴史を紐解くクイズイベントを実施し、参加者にはJA愛知西提供の「宮田用水で育まれたお米」が配られ、クイズに正解した参加者には、犬山産の桃を記念品として進呈した。

会場は終日にぎわいが絶えることなく400名あまりの来場者があった。



農業用水パネルの展示ブース



田んぼの生きもの展示ブース



農業農村ゲームアプリの体験ブース



クイズに全問正解の方々に記念品を進呈後、記念撮影

令和元年度 田んぼアート観察会

7月7日、茶屋新田田んぼアート実行委員会主催(構成団体:茶屋新田地域資源保全隊、愛知県、名古屋市)により『令和元年度田んぼアート観察会』が名古屋市港区茶屋において開催された。同委員会は、名古屋市内有数の米どころである港区南陽地区で、水田との関わりの中で市民と農家が協働で農を支える仕組みを作ることを目的として、平成23年度より体験水田の取組みとして、名古屋市初となる『田んぼアート』を制作し、多くの人に発信している。

『田んぼアート』の制作は今回で9回目となる。令和元年度は、今年で結成10周年を迎える

名古屋おもてなし武将隊とのコラボ企画となり、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、加藤清正、前田利家、前田慶次の6人の武将をデザインした絵柄となった。

当日は日差しの強い中、多くの一般客が来場し、設置された観察用の高台に上り、田んぼアートの出来栄えに感銘を受けていた。また、実際に田植えにも参加された名古屋おもてなし武将隊の織田信長も駆けつけて観察会を盛り上げた。

今後の関連行事として、9月29日に稻刈り、12月8日には収穫祭が予定されている。



田んぼアートの全景



委員会制作の信長像と武将隊の織田信長のツーショット

令和元年度

みどり 水土里レポーター

(敬称略)

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るために、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。令和元年度の本県のレポーターは、右記の水土里ネット職員の方にそれぞれ委嘱し、ご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願いいたします。



水土里ネット南陽
事務吏員 安達直子
水土里ネット愛知用水
総務課長 福田光太郎
水土里ネット豊田
工務課技師 加藤利明

なお、全国から投稿された発信情報は、新・田舎人フォーラム(全国水土里ネットホームページ <http://www.inakajin.or.jp/jigyou/tabid/106/Default.aspx>)または農業農村整備情報総合センターのホームページ「NNニュース(http://www.aric.or.jp/03_book/nnnews/nnnews.htm)」に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。

研修会名	開催日	対象者
複式簿記導入促進特別研修	9月11~12日	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット事業視察研修会	10月29~30日	事業実施会員役職員
水土里情報システム応用操作研修会	10月又は11月予定	水土里情報加入団体職員
小水力等発電技術者育成研修	発電会計運営研修 11月7日	市町村、水土里ネット職員
	発電維持管理研修 11月8日	
技術力向上事業研修会	未定	市町村、水土里ネット職員
農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会	12月4~5日	同盟会会員役職員
多面的システム操作研修会	12月又は1月予定	多面的システム利用団体
水土里ネット役職員研修	1月中旬予定	水土里ネット役職員

農業基盤整備資金の金利のご案内

令和元年8月20日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

金利は金融情勢により変動します。

最新の金利は名古屋支店農林水産事業農業食品第二課 (TEL052-582-0745) にお問い合わせください。

区分	利率一覧 (令和元年8月20日現在)				
	借入期間に かかわらず	融資期間別 (一例)			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	0.22%	—	—	—	—
団体営補助残	0.07%	—	—	—	—
非 補 助	0.07%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.07%	0.07%	0.07%	0.07%

第18回

あいちの農業・農村フォトコンテスト募集

愛知県の活力ある美しいむらづくりのための農業農村整備を推進し、すばらしき、あいちの農業・農村を広く一般に紹介するため、広報キャンペーンの一環として作品を募集します。

テーマ 「未来へつなぐ土地改良施設」

賞

- 水土里フォト大賞 1点(賞状、副賞3万円)
- 水土里フォト優秀賞 2点(賞状、副賞1万5千円)
- 水土里フォト入選 10点(賞状、副賞5千円)
- 水土里フォト四季賞 4点(賞状、副賞3千円)
- 多面的機能共同活動特別賞 3点以内(賞状、副賞1万円)
- 水土里フォト参加賞 参加者全員(記念品)



応募締切
令和元年
11月18日
(当日消印有効)

※詳細は、水土里ネット愛知ホームページ(<http://www.aichi-doren.or.jp/>)をご覧ください。

残暑お見舞申し上げます。

水土里ネット愛知 会長 中野治美

外役職員一同

